

(子どもが) 生まれてから朝早く行くようになりましたね。まあ朝早く起きて、なるべく夜は早く帰るといふ形にはしたんですけど。…帰りは9時ぐらいですかね…それは子どもに会いたいという意味もありますが、(妻が) 専業主婦状態になっているので、家にご飯があるというのも大きいでしょうね。<16>

問題なのは、長時間労働によって疲れてしまい、家事や育児にかかわることができない、というケースである。

今は何かやる気が起きない。それだけかな…疲れていると思いますね…多少やらなきゃいけないんだろうなと思いますけどね。やる気が起きませんね、疲れて。<6>

#### 4.9. 育児休業中の家事・育児

夫婦のどちらかが育児休業を取得している場合、その期間は取得者が家事・育児の大部分をおこなっていた。非取得者も子どもが生まれる前に比べると家事・育児にかかわっていることが多いが、総量が増えるため、全体としては取得者が家事・育児の大部分をおこなう形になる。

#### 家事・育児分担をめぐる認識

育児休業取得者の間には、育児休業期間は家事や育児が「仕事」であるというイメージで家事・育児を遂行しているケースもみられた。このような考え方をしている場合でも、育児休業中の仕事が「家事と育児」であると育児休業取得者が考えていけば、あまり問題は生じない。

(育児休業中なので、今は家事・育児は) 全部私ですね。…ぼくも仕方ないと思っていますね。…今まで逆でしたからね。ぼくもほとんどやっていなかったですから、彼女に育児とか、家事してほしいとか、それは思わないですし、まあぼくが休んでいるんですからね、そのために休んでいるんですから。…(パートナーは)…まあ、当然だと思っていますんじゃないですかね。「私だって今までやっていたんだからって」いうような感じじゃないですかね。<8>

一方、育児休業取得者が「育児」と「家事」は別の仕事であるとみなしている場合には、家事・育児分担をめぐるパートナー間で対立が生じることもある。育児休業取得者から見ると、「仕事」として「育児」を担当しているという点で、会社で仕事をしているパートナーとは対等に仕事をしており、家事はパートナー間で分担するべきものだと考えられる。一方、育児休業非取得者が、自分は「外にいる」が、パートナーは「家にいる」ので、「家事と育児」をしてもらうことになると考える場合もある。家事・育児分担をめぐる認識が、このような組み合わせになった場合には、家事分担をめぐる、夫婦間で軋轢が生じることになる。

もうそれは彼に何度も言いましたけど、何で私が洗濯しなきゃいけないのかと。…子

どもが出来てから、深夜までの仕事もやらないから、早く帰ってきているから (家事をやっているだけで)、それを当然と思われちゃ、もう非常にはなはだ本意だと。…それは当然と思わないでねということは何度も言っていましたね。<7>

何か家に、ずっと家にいるから、晩ご飯とか作るものだって思われると、何というか、カチンと来るというか、こう1日家にいるっていても、仕事が子どものお世話なわけだから。そう、帰ってきたら対等だから、やっぱり週の半分作ってくれてもいいんじゃないのみたいなことを言って、却下されたりとか、いろいろあります。今の時期がすごいいろいろあります。<13>

(妻は家事や育児を) もっとやってくれて言いますね。(それに対しては) 本当はまあこっちも仕事をしているんだから、そういうのも考えてほしいなって。ぼくもまあ育児というか、子どもは昼間見ていないんで、子ども見るのと仕事するのは、まあ一緒だと思うんですよ。だから、帰ってきたら平等かなと思うんですけど、やっぱり仕事はちょっと昼休みしか休めないし、育児は (日中) 実家に帰ったら、少しは手が空きますよね。その分、楽かなとかは思うんですけど。…やっぱり仕事から帰ってきていろいろ (子どもをお風呂に入れたり寝かしつけたり) やらなきゃいけない (のは) ちょっと大変ですね。<14>

また、もともと家事・育児をかなり分担しているうえ、パートナーが育児休業を取得しているときに、非取得者がそれまでの「割り振り」とかわらずに家事・育児を分担している場合には、非取得者に割り切れない感情が生じることもある。

(大まかにいうと妻が育児、自分が家事を分担しているが) 仕事の忙しさに必ず正比例して家事の分量というのが適正に配分されるっていうわけじゃないじゃないですか。…言葉でちゃんと表さないと、家事の分量というのが再調整ってなかなかされないものがある。言わない限り代わらないんだけど、なかなかこう言いそびれるというか、「代わってよ」とはなかなか言いづらいところもあって。お互いに働いてるから、相手も忙しいというのは分かってるんで、やっぱり自分の方が多いと感じると「嫌だなあ」とかって、こういうふうになる。そうってしまったことはあります…そういうふうな不満を抱きつつ…「子育てって、もしかしてめちゃくちゃ大変なことなのかもしれないな」というのを、ちょっとかいま見て思ってたこともあったので…だから、「ああ、もしかしたら本当にやっぱり子育ての方が大変で、掃除洗濯などということは実は大変そうに見えてもルーチン業務でささいなことなのか、簡単にできることなのか」という気もしてたので。<10>

(家事、育児について) わたし自身は、今、自分では自分なりにできることはやっているつもりで、まあ、そういう意味では、結構きつい状況にはあると思っています。ただ、妻がそれで満足しているかどうかは、全然別の話なんですけども。…今は、夜8時~9時に帰ってきてから、子どもを風呂に入れて、最後の夜寝る前のミルクをあげ

て。要するに、もうわたしが帰ってきた以降、妻は何もしなくていい状況になっているつもりです。…あと…妻も結局、平日は…ほとんど外に出れないので、土日はなるべくわたしが見るようにしています。…ただ、まあ、やっぱりわたし自身そういうのが気が利かないところもあるんで、掃除とか洗濯も妻が思ったようにいつもできていないらしくて、怒られますけどね。…足りないって…、まあ、確かに言われりゃそうだなとは思いますが、自分自身としては、まあ、そこそこできるレベルではやっているつもりではいるんですけども。

…(会社の仕事が) 行って座っていれば終わる仕事ならいいのかもしれないですけども、業務内容も…もし失敗すると、数千万とかっていう単位の損害になりえる話なんで、ミスもできないです。そういう意味では、かなり自分としてはいっぱいいっぱいまでやって帰ってきた後に、もう1回仕事があるんで。…そういう意味では、うちに帰ってきてからのこと(家事・育児)で行き届いていないところがあるっていうところは、ちょっと難しいところですね。…わたしがやっている家での仕事が、…十分ではないっていうことは…認めるのは認めるんですけども、ただ、自分自身としては出来る限りはやっているつもりなんで、まあ、その辺はもうちょっと…逆に理解してもらいたいなっていうぐらいのところですね。<20>

また、育児休業非取得者が、子どもが生まれてもそれまでとまったく変わらない仕事中心の生活パターンを続けた場合、取得者に強い不満が生じる場合もある。

(子どもが生まれた後も) 相変わらず彼は当事者意識がないわけですよ…子育てをしているという。…当時はね、やっぱり7時半ごろ出掛けて、帰ってくるのはやっぱり午前2時ぐらいですね。…休みの日は大体お昼まで寝ていて。…仕事がハードなのは私も同業者だったので分かる…それでもやっぱり不満はね、何でもっと早く帰ってこられないのかという思いはずっとありました。…まあ例えば、とにかく12時を過ぎる前に帰ってくれば、またちょっとでも違うのにと…例えば日々の子どもが、今日はこういうことあったよとか、こういうこと出来たよというのを報告したいのにと。

…そのころは私が圧倒的に損をしていると、子どもを産んで損をした損をしたということばかり思っていました…何度言っても変わらないから、ああ、この人は本当に父親としての意識がないんだなというのでもすごい不満でした。…やっぱり家事がね、要するにシングルマザーのほうが多分彼の家事をしない方がいい分だけ楽だと思ったんですね、家にいる限りはね。こんなことならという思いは常にありましたね。<7>

(子どもが生まれた後も働き方は) もう全然変わんなかったですよ、本当…(ひどいときは朝7時から深夜3時って感じ)。…(家事や育児は) 全くやんなかったですよ。(そのことについてパートナーは) 不満でしたね。…具体的な言葉でいうと、どんなこと言っていたかな? まあ、基本的には彼女もぼくの仕事の内容は理解している、分かっているんであれだとは思いますが…もっと早く帰ってきてとか言っていましたよね。…何で私ばかりやんなきゃいけないのよみたいなことは言っていましたね。…

やっぱり、申し訳ないと思いますしね。何と申しますか、負担になりますよね。気持ち的な負担と申しますかね。…ああ、やんなきゃいけないなという感じ。…子どもに会いたいなという気持ちもありましたしね。ずっと寝ていましたからね。土日しか会えないですからね。子どもにもうちょっとかかわりたいって気持ちは結構強くあったですね。<8>

上でみてきたように、育児休業中には、仕事生活と家庭生活の調整において、家事・育児分担が(育児休業を取得している)妻に偏る傾向がみられる。育児休業取得者は、子どもが生まれたことによって発生する家事・育児のほか、「家事専従者」が家にいることによって発生する家事(たとえばパートナーの夕食を用意するなど)をも担うのである。

また、家事・育児分担が妻に偏る理由としてより重要なのが、夫の職場状況である。長時間勤務や家族の都合を仕事に持ち込まない働き方がスタンダードな職場では、たとえば本人に家事・育児を分担する意思があるとしても、実際に分担することは不可能である。本人も、働き方を変えることはできないので、自分は家庭より仕事を優先し、パートナーに家庭を優先してもらおうという調整方法をとらざるを得ない、と考えている。

長時間勤務や家族の都合を仕事に持ち込まない働き方がスタンダードな職場でパートナーが働いている場合、そのような状況にいるのだから、相手が家事・育児を分担できなくても仕方ないという考え方がみられる。以下に、夫婦③の発言を引用する。

会社が悪いという感じのイメージだね。彼が悪いというよりはね。…やっぱりサービス残業というのが本当に銀行の前提になっちゃっている、というのが…育児に対しての問題。…(こんなに残業するのは)おかしいと思う。…(パートナーはサービス残業が)当たり前…という会社にいる。10時まで働くのが当たり前だという。朝は7時半に出社して。というのが当たり前だから、上司にとってはそれが普通だと思っているから、そこで9時に帰ります、7時に帰りますとやったとして、それで査定が悪くなって昇格もしないというのは、本人のやりがいがないでしょう。…最初からしょうがないと思っている。<5>

やっぱりお互い働いてやっているわけだし、2人で生活しているわけだから、それは自分が何もやらないでというわけにはいかないというふうに思っているんで。それは多少やんなきゃいけないと。…遅いのはね、いかんですね。人としていかんような気がしますね、本当に。忙しくないときってのがそんなにないですけど、ずっとこれですからね。いかんですね。…先?やっぱり人間らしい生活がしたいですね。…みんな言っていますけどね、やっぱりね。どこで踏み込めないんだろうな、やっぱりな。やっぱりそうなることが怖いと思っているのかな。<6>

また、育児休業中には、それ以前よりもパートナーとの家事や育児の量についての比較が多くおこなわれるようになる。比較の結果、生まれる感情にはいくつかの傾向がある。育児休業非取得者は取得者の家事や育児について、それ以前と比べて負担が大きく、大変だと感じ、気遣いをみせる。

(子どもが生まれる前の平日の) ご飯は2人とも全部外食…(掃除や洗濯は) 週末に2人でという感じで…今とは何か手間の掛かり方が全然違いますね…。1人で全部やらないといけないとなると、自分の食事とかがおろそかになると思うんです…大変な割に自分のことがおろそかになってしまうというのが一番大変そうだなと思いますね。…例えばゆっくり自分の食事を料理している暇はないわけですよ。子どもを見ていないといけないので、だから、忙しい割に自分のことがおろそかになってしまうのはちょっとかわいそうだな。<4>

ある意味、結婚して子どもができるまでは、二人とも結構好き放題やっていましたから、それに比べれば今、妻が全然何もやっていないんで、そこが…まあ、妻も我慢しているなっていうのは分かっている。<20>

その気遣いは、たとえば、家事や育児について、決して批判的なことを言わないという形で表出される。それについて、育児休業取得者は「大変なことは理解している」と解釈する。

(自分のやっている家事や育児については) 絶対何も言わない。言わなければ十分…別に。まあ、でも大変だってことは理解しているみたいだけれども。だから私が「今日は面倒くさいから夕飯作らない」と言ったら、「そうか、じゃ、外に行くか」という感じ。<5>

#### 4.10. 復帰後の家事・育児分担の予定

復帰後の保育所の送り迎えについては妻が中心におこなう予定である場合が多い。この点についてはパートナー間である程度のコンセンサスがみられる。しかし、必ずしも分担の予定について夫婦間での話し合いがおこなわれているわけではない。

預けに行くのは私で、9時半から仕事なので、9時までに…預けて…それから仕事に行って。1歳までは、ゼロ歳児は延長保育はしてくれないんですって。基本保育が6時15分まで。だから、それまでに迎えに行かなくちゃいけないので、1歳になるまでは、仕事を20分早く出してもらうことに(会社に)お願いしてあって…(パートナーに)頼むという頭(考え)はなかったですね。当然のように、私が行くつもりでした。(そのような話し合いは)していないです。<1>

(保育所への送り迎えは) 基本的には彼女が行くかな。…帰りは…私が拾うなり、彼女が拾うなりになると思うんですけど、朝はどうでしょう。たぶん私が起きられないと思うので。<2>

今後、まだこの後どうなるかよく分からないんですけど、(妻が復職して) 共働きになったらどのぐらいの時間配分になるとか、どのぐらい忙しくなるというのはよく分からないですが、大体男でも出来ることが増えてくると思いますので、そうすれ

ばなるべくお互いに仕事が続けられるようなやり方にしようと思っているんですけど。<4>

8割方、こっちがカバーしてくしかないんだらうな。参加できるなら、参加してよっていう…（相手は）仕事の性格上、動きが取れる反面…キャンセルができないものはキャンセルできないから。…お互いできるところでやるしかない。で、何かあって融通利く、無理利くのはこっちだよなって。<11>

（妻だけに保育園の迎えを頼むことは）あんまり考えていません。彼女も多分忙しいと思いますんで。出来れば、やっぱり柔軟に動いて…。<12>

私が保育所に迎えに行き、主人に送って行ってほしいと思っている。そうすると、私は早く会社に行くことが出来るんで…仕事としての時間的余裕が出来ると思っている。…主人はやってくれそうだが、彼も早く会社に行きたいと思うので、実際はどうなるかわからない。<15>

（妻が復職後の保育園への送り迎えについて）分担だと私が預けに行くんでしょね。…どっちかはね、やっぱり行かないといけないというのは、それは思っているんですね。…専業主婦だったら別ですけど、働いているんで。<16>

夫は保育所への送り迎えや子どもが急な病気になったときの対応などがある程度になうつもりであるのに対して、妻は基本的に自分でやるつもりという意識のずれがみられるケースが多かった。

### 不確実性へのレディネス

永瀬（1998）は、育児も仕事も高い達成を望むと両立は難しいと考えられるものであり、現在の生活における所得水準、時間や決断の自由度、仕事内容などの面への満足度が高いほど、女性にとっては子どもを持つことと仕事や現在の自由のどちらも選べない状況になる、と指摘した。この状況を永瀬（1998）は「子どもには手間をかけたいので結婚と出産を延期する」と表現した。手間をかけたいというのは、何をどのようにするのかを綿密に決定し、準備したうえでことに臨みたいという姿勢であろう。

しかし、共働き家族においては、仕事も育児も、先の見通しについては不確定要素が多い。自分やパートナーが異動で仕事が変わり働き方が変わる可能性もあれば、転勤の可能性もある。子どもを保育所に預ける予定であっても、子どもが保育所の生活に慣れてくれるのかは分からない。基本時には自分が迎えに行くつもりでいても、どうしても抜けられない仕事やいつ発生するか分からない。今は育児を助けてくれている親にいつ介護が必要になるか分からない。こうした不確定要素の多い生活に対処するための思考戦略が「別の道はいつでも選べる」というスタンスである。こう考えることによって、その時々状況にあった「当面の選択」をすればよいと考えることができ、先に進むことができる。この考え方は、「4.4. 妊娠したときの就業意識について」でもみたように、育児休業の取得や育

児休業からの復職後についての見通しをたてる際にもみられる。

しかし、ある程度の不確定性に対処する心の準備ができていたとはいえ、育児休業中に復帰後の見通しをたずねると、働き始めてみないと分からないという意見が多かった。くわえて、復帰後に仕事と家庭を両立させ、共働きを続けることができるのかについては不安を感じているケースが多い。

ちょっと先までは考えられないですね。まず4月からのことがね、頭いっぱいですよ。保育園慣れてくれるかということと、病気になったときどうするかということと、あと迎えの時間をですね、どうやって2人で切り盛りしていくかってことですよ。そのことで頭がいっぱいですよ。…でも、仕方ないですからね。…自分たちのような職種の仕事は。…暇な部署に移るって手もあるんですけどね。それも、まあ考えなきゃいけないかなと実は思ったりもしているんですけど…希望どおり部署を異動できるかも分かんない。

…もう気が重いですよね。まず、病気になったときですよ。37.5度になったら、保育園は電話してくるから…行かなきゃいけないですからね。…そういうのを理解してもらえるかどうかですよ、まず会社が。…基本的にそういう人はいないんですよ、うちの会社は。みんな妻にやらせているんですよ、ほとんど専業主婦ですからね、うちの会社の男性の配偶者って。…だからそこも相談しなきゃいけないと思っているんですけどね、そこで認めてほしいとか言わなきゃいけない。<8>

復帰後の仕事と家庭の両立についての不安要因のうち、もっとも大きいものは、公的保育サービス、つまり、保育所を利用できるのか、という点である。

### 保育所の問題点

第一に、保育所の利用可能性が低いことが問題である。多くの夫婦がその点を心配していた。実際、いくつかのケースでは、入所できる保育所がなかったため、復帰の時期をずらしたり、夫婦の両方が育児休暇を取得して対応したりしていた。

(復職の時期について) 保育所がそこ(その日)からじゃないとだめだと言われたの。もうちょっと早くしたかったんだけど。…無理やり入れてもらいました。…何とかありませんかね、と言って。…「ほかのところ、もう全然入れなくて」とか言って。…どこへ行ったってだめなんだった。無認可だろうが、認可だろうが、とにかく。<5>

(年度途中の保育所への入所について) 一応可能性はあって、1人か2人は入ったんじゃないですかね、年度途中…いやあ、ショックでしたね。…まあ、そのために引っ越してきましたからね。…まあ、仕方ないですよ。もっと困っている人がいたんでしょうからね。…だめでしたっていう通知が来たんですよ。で、それからどうしようかって話になって、で、まあ選択肢は無認可に預ける、無認可の10時までやっているところを出したら、だめだったんですよ。ええ、無認可のキャンセル待ち。…駅の近くにあるんですけど、10時までやっているところがあって。…で、だめなんで、

じゃあ選択肢はもうパートナーに3月までもう1回育休取ってもらうか、まあ自分が育休取るか、どっちかしかないんで、で、まあ自分が取ることにしたんですよ、それで。…ええ、ちょっと詰まって、一気にそういうこと決めたんですよ。それで決めたんですよ。保育所に入れられないんで、どうしようもないから取ることにしたんですよ。<8>

第二に、保育所への入所は4月の新年度以外には欠員がないと無理であるため、保育所を利用したい場合には、4月にあわせて休業期間を決定するケースがほとんどである。この場合、子どもが満1歳になる前に復職することになるケースが多い。また、認可保育所の場合、4月にあわせて利用を申し込んだとしても、保育所を利用できるかどうかは2月頃までわからず、復帰に際しての大きな不確定要素となる。これらの点についての改善の要望は多い。前述したように、とくに第1子の場合、復職後の生活については、働き始めてみないと分からないという意見が大半であり、不安が強かった。その大きな原因が、保育所の利用可能性の低さである。保育所の利用可能性が低く、利用できるかできないかわからない状況で育児休業期間を過ごすため、子どもの将来については、まずは保育所に入れるかでその後のことは考えられない、というケースも多い。

今、公立の保育所って4月にしか入れないじゃないですか、基本的にどこもいっぱいなので、23区内では基本的に。そうすると、何月に産むかでどれだけ休めるかが決まるというのも非常に大きな問題でしょうね。何とかするべきだとは思いますが。  
<4>

(保育所は)入っている人優先。これはある意味まあしょうがない…が、(途中から)入れる枠というのを少し。そういうふうな…余裕を持ってほしいというのがありますよね。  
<12>

現状では、保育所利用にかんする不確定要素を早い時期に解決するには、認可保育所を選択しないというオプションしかない。このような選択をした場合には、復職にあたって子どもの保育先を早めに確実に確保したいという希望と、親として子どものためにできるだけよい保育先を選びたいという希望の双方を実現するために、慎重に情報収集がおこなわれる。

(自宅から)3分ぐらいのところにある…自治体からの認定を受けている認証保育所に預けています。知り合いから「いいよ」という話を聞いたので。…一時保育してくださいるので、復職する半年ぐらい前にちょっと一度預けてみて…年明けてからは1週間に1回ぐらいお願いをしていたんですね。で、まあ、慣れてきて、もう子どもも良さそうなので。認可だと(入所できるかが)なかなか決まらないじゃないですか。…それもあって、入れるかどうか分からないならば、もう子どももここが気に入っているようなので、まあ、ここにしようかなということで。ここは、特に認可のように順位付けがあるわけじゃないので、はっきり言えば先着順っていう感じなので、まあ、



それで一時保育をお願いした少し後から、もう12月にお願いをして、「入れます」というお話をいただいていたので、もうそこに決めてしまって、認可には申請もしていないということですね。<15>

(第1子の保育先は) 認証保育所で、最寄り駅から三つ先の駅。(1月の復職だったので) 到底認可には入れないので…やっぱり経営母体がしっかりしているところを探して。まあ、インターネットで…。アットホームな感じも受けましたので、取りあえず入れてみよう。…案の定認可は落ちまして。<19>

認可保育所については、保育所に預けられるかどうか分かる時期が遅いこと、実質的には4月以外の時期の途中入所がほぼ不可能であることなどが改善される必要がある。

第三に、保育時間の硬直性がある。フルタイムで働いている場合には、定時で帰らないと保育所の迎えには間に合わないが、育児休業に入る前の働き方は、残業が常にあるというものであったケースが多い。延長保育をあらかじめ申請することはできるが、首都圏の場合、職住近接の工夫にも限界があり、フルタイムで勤務している場合、通勤時間を含めると、定時退社をしても、そもそもはじめから延長保育でなければ間に合わないケースがほとんどである。また、当日、突然に保育時間を延長するということできない。したがって、育児休業から復職した後に、毎日毎日、保育所の迎えに間に合うように常に仕事を終えることができるかという点は大きな不安材料、精神的負担となる。

保育園の終了時間があと1時間遅ければいいなというのはありますけど。…上の子が…無認可にいたころは…夕食を食べさせてくれて…9時まで預かってくれるんです。今こういう仕事をしているから、帰りが不安定になってきているんですね。…だから、…施設にも出来れば(遅い時間まで) やってほしいなというのはあります。要するに、夜がちょっと遅い親がいますよっていうのを、で、(それにあわせて) …保育園をこのぐらいまで開けますっていうほうがいいなと思っています。<12>

育児休業に入る前の働き方が通常は定時で帰ることができるものであった場合には、現行制度の枠組みでおおよそ両立は可能であると考えられていた。ただし、この場合でも、漠然とした不安はあるし、定時で帰宅できることが多いとしても、保育所にならず決まった時間に迎えにいかなくてはいけないことに対するプレッシャーは別のものである。

(両立するにあたってほしい制度は) 特にあまり考えていないですね。なんか漠然とした不安はありますけど。<1>

やっぱり保育所がもっと時間が融通が利くといいですね。朝もうちょっと早くからやって、夜も7時8時まで預かってくれたら。だったら、まあこっちは気にしないで働けるし。<14>

第四に、病児保育の貧弱さがある。子どもが保育所で病気になると、保育所では保育してもらえないので、すぐに迎えに行かなければならない。行政区域内に病児保育所がある場合でも、数が少なく、利用しやすい場所にあるとは限らない。とくに、本調査の調査対象者においては、いざというときに利用できる場所に病児保育所があるというケースはなく、その点についての不満は大きい。

(子どもが) 病気のときはあれでしたね、私はどうしても休めなかったんですよね。その機械を動かせるのは私だけだったんで。彼女に休んでもらったこともありましたし…彼女の親に引き取ってもらって、もうそのまま1週間とか、2週間いなかったとかありますよ。その後、(当時住んでいた) 行政区域に病気の子を預かる施設が出来て…使いたかったんですけど、遠かったんですよ。一つしかなくて、はるかかなただったんで。あれが自分たちの園のところにあるだったらお願いしました。<12>

病児保育、この行政区域にもあるんですけど、遠いんですよ。1カ所ぐらいしかないのかな、この広い行政区域に。…それこそ駅前保育の病児保育版みたいなのがあっていいぐらい。<19>

#### 4.11. 休業の期間

休業期間は、法定期間か、企業が独自に定めた期間(満1歳を越えた最初の3月末まで、子どもが満1歳半になるまで、など)を基準として、保育所の入所時期や仕事の繁忙のサイクルにあわせて決定されていた(表4-1参照)。それぞれの夫婦について、一番最近の育児休業からの復職についてみると、10組の夫婦のうち、7組は保育所の新学期に合わせて4月頃<sup>7</sup>に復職をしていた。7組中、4組は子どもの月齢が12ヶ月以上での復職である。具体的には、2組は復職時の末子の月齢は12ヶ月、1組は18ヶ月(子どもが1歳になるまで妻が休業し、4月以外の時期に復職しようとしたところ保育所が利用できなかったため、翌年の4月まで夫が育児休業を取得した。ただし仕事の都合上、妻の復帰から夫が休業に入るまで1ヶ月あいている)、1組は19ヶ月での復職であった。4月頃に復職した7組のうち、残りの3組は保育所への入園時期を考えて、月齢9ヶ月から11ヶ月で復職している。一方、4月以外に復職した場合、満一歳まで育児休業を取得した2組はいずれも認可保育所は利用していない。また、職場からの要請があり仕事のスケジュールを考慮して、4月以外の時期に月齢6ヶ月で職場に復帰したケースも1組あった。このケースでも、復帰直後には認可保育所は利用していない。

本当は会社が待ってくれるというか会社に人の余裕があるのであれば、まあ正直言って少ないと思うんですけどね、やっぱり1歳まで休んだ方がいいと思います。…それが許されないんだったら、じゃあどのタイミングでスタートしようかなと思ったときに…結局は会社の方の忙しいタイミングが12月なので、そこからの復帰ということ

<sup>7</sup> 保育所によって、慣らし保育の期間などが異なるため、同じように4月から保育所に入園する場合でも、育児休業取得者の復帰時期には若干のはばがある。

にはなってしまったんですけど <17>

また、育児休業取得者の中には、長期間仕事から離れることに対する不安もみられた。

やっぱり1年以上休むと勘も鈍るんじゃないかなというのがあって、やっぱり最長1年だなという思いが、何の根拠もないですけど、自分の中で何となく。<7>

半年(の休業)だってやっぱり、かなり焦りがありますからね。…自分が一線に戻って、ちゃんと働けるのかどうかというのはやっぱり怖いですよ。仕事の相手先からも忘れられちゃうかもしれないですね。<8>

(会社の規定上は3年まで育児休業を取得できるが) 実際3年も休んだら、私が精神的に戻れないかなと思う。<15>

(仕事の勘という面からは) やっぱり(復職は)早い方が。業種にもよるでしょうけれども、いろんなことが変わっていくので、1年分まとめて後で追いつこうと思ったら、それは大変だと思うんです。(1年は)仕事の面から考えたら長いと思います。仕事だけで考えたら、やっぱり本当は半年が限度かなと思いますね。<17>

#### 4.12. 復帰後の調整

##### 居住地の選択

首都圏で働く共働き夫婦は、仕事と家庭の両立のために、居住地についても工夫している。少なくとも夫婦のどちらかの勤務地に近い、少なくとも夫婦のどちらかにとって通勤の便がよい、地域の保育サービスが充実している、などを基準に居住地を選択するという工夫は不可欠のものである。

育児休業後に利用する育児資源は、保育所か(電車や車による行き来が容易という意味で)近居の(子どもからみた)祖母である。結婚時に妻が明確に「子どもができて働く」という意志を持っていた場合には、その段階で妻の通勤の便や利用可能な育児資源が検討され、それに合わせた居住地の選択がおこなわれていた。それ以外の場合でも、妊娠が判明したのちに転居がおこなわれるケースが多い。子どもが生まれてより広いスペースが必要になることも転居の理由であるが、居住地の選択にあたっては、育児資源へのアクセシビリティが重要な要素となる。

(子どもからみた)祖母との近居、保育所の充実(延長保育の実施、近くに複数の保育所など)した地区、妻の通勤の利便性などが居住地決定の際にとくに重視される項目である。夫より妻の通勤の便が優先されることが多いのは、妻が労働時間を調整し、保育所への送り迎えを担当する予定の夫婦が多いからであろう<sup>8</sup>。

<sup>8</sup> 第一生命研究所が2003年におこなった「今後の生活に関するアンケート」によると、共働き夫婦(第一生命研究所のネーミングでは「共働世帯」)において、夫の平均労働時間は8-10時間が45.3%、10時間以上が52.8%であるのに対して、妻の平均労働時間は8-10時間が72.5%、10時間以上が21.6%と、あきらかに妻の労働時間のほうが短い。また、通勤時間

(妊娠を契機に引越しをしたのは、以前住んでいたところでは) 保育園に全く入れそうになかったんです。正確に言うと、以前のところのほうが保育園はすいているかもしれないんですが、場所がすごくまばらなんです。(加えて) もともと子どもがいていいような間取りではなかったのも、いずれにせよ引っ越さないといけなかったとか、幾つか理由はあるって、妻が職場に復帰して通いやすい場所というのと、保育園がある場所というのと、ここ(の条件)を一番大事にして今の場所を選んだんです。

…(妻の通勤を優先して引越し先を決めたのは) 保育園の送り迎えに関して、基本的に妻に頼らざるを得ないことが多いと思うんです。朝送って行くほうは僕が出来ると思いますが、特に帰りに関しては頼まないといけなくて、しかも出産までの間って、重たい体で通わないといけないじゃないですか。やっぱりその間に一番楽にならないとつらそうだなと。<4>

子どもが生まれた際に引越しをせず、夫のほうが通勤時間が短いケースでは、夫が送り迎えをすることになっていた。

分担は、もう、近いからやってねって、終わり。<13>

(保育所へは) ぼくが送り迎え。<14>

首都圏の共働き夫婦が居住地を選択するにあたってとくに深刻なのは、夫婦の通勤先の方がまったく異なる場合である。このような場合、夫婦の通勤のバランスを取るために、どちらも長時間通勤を余儀なくされることになる。

(結婚当時、夫婦の勤務地の方向が反対で、夫婦とも通勤時間が長かったことについて) 家賃…予算(の上限)で考えると入れる家っておのずから決まってくるからね。…で、お互いの通勤圏で我慢出来る範囲って言ったんですよ。<12>

夫婦⑥は、1人目の子どもを保育所に預けていたときには、双方の通勤時間が1時間を超えていたため、毎日細かく連絡を取り合って、どちらか早く迎えに行けるほうが保育所に子どもを迎えに行っていたという。

場所にもやっぱり条件があるんです。夫はなるべく西の方にほんとは行きたかったんですけど、「わたしは、(通勤が東のほうだから)絶対多摩川を越えない」とか言っていたから。そうすると(価格面と)…(互いの)通勤時間。(それらの釣り合いが取れる)このかわいでしか探さなかったんですよ。<19>

妊娠を契機に、通勤の利便性や地域の保育サービスの充実度を考えて賃貸住宅に引越しをし、その地域でしばらく生活したうえで、満足して、その地域に住宅を購入したケースも

---

についても、往復の所要時間が1時間未満であるのは、夫が56.6%であるのに対して、妻は61.7%と、妻の労働時間のほうが短い傾向がみられる(第一生命研究所2003年)。

みられた。

「保育がいいから」って言って、ここに引っ越してきたんですけども、確かにやっぱりいいんですよね。やっぱり夜 10 時まで預けられるというのは、非常に (安心感があって)。じゃあ、考えてみると…保育園の間は、少なくとも住まなきゃいけないと。となると、やっぱり家賃とかを考えると…買ったほうが絶対にいい。…小学校も、区内でも割といい小学校と言われてる小学校で、このマンション買った人でも、その小学校に入りたいからと言って、買った人が何人もいるらしいんですけど、だから、まあ、子育て環境としては非常にいいなと。で、買い物なんかも駅前に行けば (いい)。…子育てはしやすい街だなというのが住んでみて分かったので…もうここが一番いいんじゃないということで (決めました)。<7>

彼が働き始めたので、いつかは家を欲しいねってずっと言っていたんですよ。で、子どもが大きくなればどこでもいいんですけど、今の生活を考えるとやっぱり保育園に近いことが一番の条件だっというお話で、保育園から 1~2 分で行ける距離。それぐらいの距離じゃないと、今近いから、それ以上離れるのはって言って、「この辺売ってくれないかね」って言いながらよく散歩してたんです。そうしたらちょうど、多分相続か何かの関係で大きい土地が空いてて、そこに何建てるんだらうってしょっちゅう見に行ったら看板が出て、そこで建て売りやることになってたんですよ。それですぐに電話して、興味あるんですけどって言ったらとんとんとんと。…あそこが気に入ったっていうのが一番なんですよ。買うに当たってはやっぱり勉強したんですけど、ほかのところとかもいろいろ見て回って。(今度の家は) 場所が駅から近いし便利だし、どこに出るのも行きやすいので。もう (この地域から) 移らないと決めて、そこを買っちゃったんですけど。… (この地域に決めたのは) 保育園の要素も強いですし、やっぱり結婚してからずっとこのあたりだから慣れてるっていうのもあるし。あと最寄駅だけじゃなくて、10 分以上歩くんだけど使える (駅が複数ある) し、まあ便利だなということで。<1>

### 育児のための仕事時間調整

復職後も、会社に育児時間などの制度的なサポートがあれば、そうした制度を利用することができる。育児のために勤務時間を短縮することができる制度は、仕事と家庭の両立を容易にするには、きわめて効果的であると利用者に認識されている。育児時間は、育児そのものへの直接的なサポートというだけでなく、たとえば、家事負担の分散、通勤の負担の軽減などにも役立つものとして認識されている。また、育児時間の取得可能期間が長い場合、2 人目以降の子どもを妊娠している期間の通勤の負担の軽減になるという副次的な効果もある。

最初は、まだ 1 歳になってなかったので、1 歳までは、有給の状態でも 1 日 1 時間は時短が効く…本来、結局育休を取っていてもいい期間なので、(その時期は) 給料は保障されていると…今は、もう 1 歳超してしまったので、ほんとは 8 月から 9 時~5 時半の予定だったところが、たまたまその職場に同じように 3 歳になるときまで時短を取っていた

人がいたので、それに合わせて便乗する形で、引き続き1時間の時短をまだ続けてやっています…給料が、やっぱり減ってます、1時間分。毎日…朝9時半に出勤して…(帰りは)5時に。30分ずつ分けているので。朝も実はラッシュに乗らなくて済むし…帰りもちょっと早い。<3>

(育児時間を取得したのは) 僕が近いからです。(育児時間をどちらが取るかについての) 話し合いは特にはないです。(育児休業) が取れなかったのも、そっちでもいいかっていう。…うちの場合は、朝1時間取って、帰り1時間取ったんですよ。朝、苦手なんで、朝、遅く行けるのがいいなって。…育児時間って結構よかったんですよ。朝をゆっくりできるっていうのもありますし…ご飯を作ったりするのに、早く帰れたほうがいいじゃないですか。だから、いいなと思ったことがあったんですよ。(育児時間は3年ぐらいあったほうが) いいですね。<14>

(勤務時間は) 今は9時半から4時半です。…育児時間を取っています。最初、4月から…6月までは9時半～4時にしていたんですね。…そうすると、5時過ぎには帰れるかなと何となく思って。(朝は) ラッシュもありますし、自分たちの用意もやっぱり時間がかかってしまうんでね。…後ろは…最初は5時過ぎに帰れるぐらいと思って、16時にしたんですけど、ちょっと仕事の厳しいということで、少しでも延ばそうかなというので(16時半までに) 延ばしたんです。…子どもの健康状態(が良いこと) プラス、わたしが短く働いているって、そこがあるから(今は両立できている) と思いますね。多分フルで働いていたら綱渡りでしょうし、シッターさんとか、何かサポートシステム、何かもう一つないと、やっていけなさそうですね。<15>

FWA という名前のついた(時短) 制度がありまして、子育てに限らず、何らかの事情があつて上が認めればという条件付きで、権利ではないんですけども…「ちょっと今、この人数だと困るから認められない」とか、そのときの状況によって、それは上の判断でできるんです…5割は最低限ということで。その代わりお給料もそれにプロポーションにずっとくるということなんですね。…多分、介護とかにも使えると思いますし、…自分の病気とかでも使えたと思います。ただ、やっぱり実際に使っている人というのはまだ少ない。…(役職が付いている人では) 私が初めてだと言われたんですよ。<17>

(育児時間が満3歳までとれるので)2人目・3人目の子どもを妊娠中の通勤が楽だった。  
<19>

しかし、全ての職場でこうした制度が整備されているわけではない。また、制度があつた場合でも、職場の雰囲気によっては利用できないこともあり、必ずしもきちんと機能しているわけでもない。遅くまで働くのが当たり前の職場では、育児時間が制度としてあつても利用しにくい。また、定時まで働いたとしても、あるいは、ある程度、残業していても、常に周囲より早く帰ることに精神的な負担が生じてしまう。

一応うちの会社では6歳まで時短とかは認められているけど、だけどそれでもやっぱり取らない…5時に帰りますなんて、ちょっと帰りづらいかなと思うし。…帰っちゃえばいいのかもしれないけど…仲間として認められなくなっちゃうんじゃないかなと思う。<5>

「今日できません。今日帰ります」とか、「すいません。あさって休ませてください」と言ったり、「今日、子ども、調子悪いんで、帰らせてください」って言ったら、「あ、いいよ。いいよ」って感じ…融通が利くってことですね。…年配の方が経理にいて、…「やっぱり子どもが小さいうちは、欠勤になってもいいから、ちゃんと子どものために休み使いなさい」と言ってくれるんで、まあ、そういう意味では、精神的に助かっていますね。…周りの方は、(帰るのが)もっと遅いんですよ…最初、それ気にしてたんですけど、(できる範囲で)きっちりやるんだったら、それでいいからって。<11>

(夜8時に子どもを保育所に迎えに行くために早く退社することについて) それしかできないっていうことをアピールせざるを得ない…そういうもんだと思われれば、まあ、しょうがないからなって感じで…こっそり帰ってくることのほうが多いですかね…出ちゃって、そのまま直帰しちゃうとか。

…もうそれしかできないっていうことをアピールせざるを得ないので、もう「すいませんけど」と言って、帰ってきて。最初はやっぱり大変でしたけど、でも、もうそういうもんだと思われれば、まあ、しょうがないからなって感じで。あとは、だから家にも原稿持ってきて、帰ってきて書いたりとかいうのもありましたね。<7>

育児時間を利用している場合でも、実際に、その時間どおりに仕事を終えることができるわけではない。実際は、短縮した定時の労働時間に加えて残業をおこなって帰宅するのである。これは、本人が自発的におこなっていることがほとんどである。育児のために仕事を短くしていることを周囲に納得してもらうため、育児時間を取得したことによる労働時間の短縮分、給与を減らした上で、定められた時間より多く働くのである。

(育児勤務中は) 決めた時間には帰るのが原則というか、人事部的には帰らなければならないってことですね。…上司がそういう帰れるように仕事量をコントロールするという…システムなんですけど、なかなかそれってできないんですよ、そこまでね。なので、大きくくりには、上司は、人よりわたしは仕事を少なくしてくれているので、それで確保されていて、あとは自分で(コントロールして)帰るんです。(持ち帰って仕事をする場合は) ありますね、正直。<15>

わたしは今、例のFWAで、さらに変則FWAをしまして…今は月水金を12時半まで、火木をフルタイムというふうにして、7割というふうになっているんですけど、でも、実際に12時半に帰れることはまずなくて、4時とかぐらいで。大体4時ぐらいですかね。火木はフルに。…フルで、フルプラス6時半までは絶対に。…結局8時ぐらいまでいますね。

…(当初は80%のFWAだったのを70%にしたのは) 上の子と接する時間をとにかく増やさなくちゃいけないと、すごく焦っていた部分もあったんですね…小学校だとやっぱり帰ってきて宿題がありますし…それを確保するために…12時半でやっておいて、必要があれば4時ぐらいまで残ろうと。そこで、もともと残業は出ないので、そこで不公平感じゃないですけど、そこでちょっとクッションみたいなものを作ったらいいかなと。…で、ほんとに、例えば、授業参観とかがあれば、「今日は授業参観があるから、1時には帰りますね」とか言っても、別にわたしはもともと12時半なわけだからということで、わたしも言いやすいし、気持ちが楽だということで、お給料もその分減っているというのがみんな分かっていますし。…わざとそういうふうにやっておいて、それで、自分たちの残業は2~3時間だけど、わたしもたまに4時まで残っているということは、「あ、それだけ残っているんだな」というふうに思ってもらえたらいいなということもあって、それはわたしの中でのやり方で、少しでも緩和できたらいいなと思って、わざと自分の給料を。自分の給料を下げるということはできないじゃないですか。でも、そういう形でできるんだったら、いいかなと思ってやってみたということなんですけれど。

<17>

しかし、これは育児時間制度の趣旨に反する上、実際には残業代が請求できるのに、勤務時間を短縮しているために周囲に遠慮して残業代をつけにくいという問題がある。また、夫婦間でも、育児時間を取得しているにもかかわらず、実際には育児をせずに残業して仕事をしていることや時には休日出勤することなどについて、パートナーから不満を持たれてしまうこともある。

妻は今は時間が短くて仕事しているもんですから、土日に仕事に行きたがるんですね。個人的にはあまりいいことだと思っていなくて、それこそプロセスが回っていないからなんだと思うんですよ。一応行くのは行くでしょうがないから見ていますけど。…嫌ですよ。だって、育児って二人ですもんじゃ、やっぱり。土日が休みだっていうのは二人とも平等なわけで、それをどっかだけが受け持つって、やっぱり不平等じゃないですか。そこが不満です。

…(育児時間で) 時間どおり帰ってきてくれるんだったら、別にいい。…やっぱり子ども見ていれば分かりますけど、僕よりは母親のほうを望んでいます。一緒に並んでいけば、必ず向こうのほうに行くんで。だから、昨日なんかずうっと面倒見ていましたけど、(妻が仕事から) 帰ってきたら、もうダーッと寄って行って。まあ、父親なんて、こんなもんなんだよなと思うし。別にそれが寂しいとか思うわけじゃないし。

…昨日わたしアドバイスしたんですよ。今は月水金を早く帰ってくることになるでしょう。でも、月水金行けば…みんな聞きに来るんですけど。これはどうしましょうか。あれはどうしましょうか。で、自分の仕事を実際できない。そのときは、盾を作って、「今、集中しているから寄ってくるな」というのをやるか。もしくは…前と同じ方式を取って、会社に行かない日を作りなさい…と言いました。<18>

一方、裁量度の高い仕事の場合は、制度がなくても、仕事のパターンを変えることで育



児との両立を図っているケースもある。ただし、このような働き方が出きる職種の場合、家に持ち帰って仕事をするのが常態であったり、夕方一度家に帰宅し、子どもが寝た後、再度、出勤したりしているケースが多い。もともとの労働時間が長いためである。

(子どもが病気のとくに) 休めそうだったら休んじゃいます…(小さい子どもがいることへの配慮は) もちろんしてくださってるとは思いますが、でも、そういう以前にそういう (やることをやっていけば休みやすい) 空気がある部署…。だから、「あ、すみません。(子どもが) 熱出したんで帰ります」って帰って(くることもできる)。<2>

今年に入ってからは、夕方1回帰ってきて、夕食を一緒に食べて、お風呂入れたりして、寝かしてから、もう1回仕事に行くとかいうのがパターンになりましたね。<4>

フレックスで30分早くきて、それで30分早く帰るんで、ちゃんと働いてんの、8時間は。…ただ…フレックスを常にやるっていうのはね、(ほかにやっている人もいないし) どうだったんでしょうね。でも、そうしますからって、もう言っちゃったから。…(仕事があれば) 持ち帰りだね。(通常の勤務時間だけ) では何ともならない。<9>

わたしは別に (スケジュールが) 空いてればいつでも (育児のための時間を) 取れますけど。今日だって12時まで育児していましたし。何でしょう。仕事の中で、自分の裁量が確かに利くんですね。<18>

(家でも仕事は) 毎日1時間はします、最低。ひどいときは2時とか3時まで上司とチャット状態になります。…もう妻も子どももみんな寝ていますし、静かですし、何でしょう。誰にも邪魔されない空間。お客様からも電話かかってこない。(ある意味、夜中のほうが仕事しやすい) です。<18>

子どもの病気のために突発的に休暇を取ったり早退したりすることに対しては、周囲の理解が重要である、上司の裁量に依存する、と考えられている。

前の上司からは(早退について)注意されたこともあるが…(注意されたのは、上司の) 気分的な問題だったと思う。現在の上司は、早く帰ったりとか突然休むことについては、多分理解がある方だと思う。何も言われたこともない。<1>

(周囲が) 子どもがいるということは知っているから、突発的なことが起こることは分かっていると思うんで。ほかの人も結構あるんですよ。それ(子どもの病気で休むこと)は普通のことだと思いますけどね。<6>

僕は何とか、育児休業取ってから会社復帰してるんで、だから、そういう人間だっていうような位置付けができていたんで、社内的に。だから、「子どもが」って言うと、多少「ああ、じゃあ、仕方がないな」っていう感じ、身に付けたんで、社内的には、そん

なにあったんですけどね。「ちょっと1時間だけ行ってきます」と言っても、「ああ、じゃあ、いいよ」という形になって、割と理解はしてくれたんです。 <8>

「今日できません。今日帰ります」とか、「すいません。あさって休ませてください」とか、「今日、子ども、調子悪いんで、帰らせてください」と言ったら、「あ、いいよ。いいよ」と感じ…融通が利くってことですね。…年配の方が経理にいて…「やっぱり子どもが小さいうちは、欠勤になってもいいから、ちゃんと子どものために休み使いなさい」と言ってくれるんで、まあ、そういう意味では、精神的に助かってますね。 <11>

（「妻が復帰した」と職場で言ったことで）いいことは、やっぱり子どもがいるから、早く帰れる…。発熱したとき「ごめんなさい。39度でうちの子ども倒れた」と言ったら、帰してくれますからね。やっぱりそれは帰してくれないと困るんですよね。 <12>

ただし、こうした対応も、職種、職場に依存する部分が多い。自分で仕事のスケジュールを組むことができる職種についている人、上司の理解がある職場で働いている人の場合、こうした対応が可能である。

変えてます、仕事の仕方を。今は、(客先に) 直行して直帰することによって、(一日に回る数を前は1件だったのを) 2件にしてる。…必ず会社に帰ってこなきゃならないと、前は言われていたんですけど、今はもうできるだけ行かない。…外勤がメインなんで、できるだけ会社に帰るのは、週1回～2回なんですけど、それ以外は絶対に行かない。特に、私たちの職業って(毎日、会社に行かなくても) 変わらないですからね、内容は。 <12>

(自分の仕事は) 打ち合わせ以外のことは、結構自分のペース…自分の好きな時間にやろうと思えば出来るんですよね。(持ち帰って) できるものもありますから。そういう意味では私のほうが多分(融通が利く)。主人はどちらかといえば、(席に) いなきゃいけないという感じなんです。で、(自分はチームで仕事をしていて) 1人でやっている仕事もないので、まあ周りの人に頼むってこともしやすいといえば、しやすいですね。主人は、どちらかというとも1人で仕事していることが多いんで、抜けたらゼロになっちゃいますからね。 <15>

(上司にも子どもがいて) 当然風邪もひきますし、何か病気したといったら、「ごめん。おれは今日は家で仕事するから、何かあったら、携帯に電話よこせ」と言ってくるんで、それはもう気心知れていますし、上司がやんなきゃいけなかったことを、例えば、代わりに何かやっておいてあげようとか、そういうのもありますし。…確かに、まあ、今は時間が割と自分の好きなように使えるからいいですけど、上司が替われば仕事の仕方が変わるはずなんで、そうなっちゃうと、子どもをここまで面倒見られないですよ。…今の上司が割と分かってくれる人だし。 <18>

#### 4.13. 保育先への送迎にみる家事・育児の再配分のプロセス

今回インタビューした全てのケースで、復帰後、子どもは、平日の昼間は、保育所または祖父母の家に預けられていた。このため、子どもを自宅から送り迎えするという家事が新たに発生することになる。この送り迎えの担当は、夫婦の仕事や通勤の都合を考えて、決められていた。

復職にともなう家事・育児分担の再調整にあたっては、夫婦それぞれの仕事状況が重要な要素になる。仕事状況は夫婦で同等なわけではない。仕事状況の厳しさには夫婦間で順位がつけられるため、仕事との両立がよりやさしい家事・育児は仕事状況がより厳しい者へ、仕事との両立がより難しい家事・育児は仕事状況が相対的に厳しくない者へと割り振られる。たとえば、残業が必要な仕事状況では、保育所に子どもを迎えに行くことができない。そこで、子どもの保育先への送迎について、残業をより多く必要とするほうが送る方を担当し、もう一方が迎える方を担当する、といった分担がおこなわれる。

夫婦ともに専門性や時間拘束性の高い仕事についている場合には、調整が難しく、どうしてもどちらかに負担のかかる調整になってしまう。

(保育所に預けるのが自分で迎えに行くのが妻なのは) わたし優先ということだと思います。つまり…出勤の方は定刻に行けて、かつ帰りは拘束されないということで、預けに行く方が有利なんですよ…男だからだと…だから立ててくれているんだと思いますけどね、きっと…夫婦間で。男はあまり5時になってすぐに帰るのは格好悪いだろうとか、そういうことでこういうふうなのが多分認められているんだと思いますけど。  
<10>

朝は、駅前まで駐車場借りて車で行って、駅でお別れ。それでパートナーが抱っこして、…連れていくの。…7時10分発に乗るのね、あの人たちは。帰りはわたしが…受け取る。…私は7時14分発の下りに乗ると、職場に着くのが7時40分なのね。それから働くんで、5時前に。16時45分まで働いてたの。それで…ちゃんと働いてんの、8時間は。  
<9>

ここで、夫婦④を例として、復帰後の家事・育児の再配分がどのようなプロセスを経て決定されるのかをみてみよう。

まず、育児休業中には、復職後の保育所への送り迎えの分担の予定について、夫婦はそれぞれ次のように考えていた。

やっぱり彼は、朝は大丈夫だけど、夜なかなか毎日8時半にっていうのは難しいみたいなので、だから、まあ、基本的には、朝は彼で、夜は私にしようかなと思ってんですけどね。だから、1回「やれます」と言うと、自分の職場に向けて「夜もやれます」と言っちゃうと、それを期待されると困るので、「基本的にはやれません。何かあって、例外的にはやれるときもあります」という方針で行こうかなと思ってんですけどね。…やっぱりそういう男社会の中で、やっぱりなかなか「子どものお迎えに行くので、7時半に失礼します」というわけには、やっぱり彼のほうもなかなか難しいんだろうな

というのは理解しますので、まあ、朝は割とルーズな職場みたいだから、何時に行っても別にとがめられたりしないみたいなので、まあ、私が難しいときをお願いするけど、夜は、まあ、基本的に私がということでやろうかな。…(パートナーが復職すると) 帰りやすくなるかなとは思っていて…会社には何かよっぽどのときは 10 時までですけど、普段は 8 時に迎えに行かなければなりませんと言ってあって。…とにかくそういうふうには言わないと、なかなか帰りにくいんですよね…彼はそうすんなり部署も替われないだろうし、早く帰れるという生活になるのは無理だろうから、しばらくは当面は私だけ、私のやっぱりまた私の過重負担が続くと思うんですけど、だけど、それはまあ彼も育休を取ったという大きな決断をしたので、まあしょうがないかなと思って。…しばらくの間は猶予期間を与えようかなと思っています。<7>

(復職時には原職に) 戻りたいですけどね…ただ育児の兼ね合いがどうなるか。彼女に全部おんぶ、任せていいのかというもありますからね。…保育園の迎えの時間があるじゃないですか？朝は、まあぼくがやろうと思っているんですけど、10 時まで夜間保育があるんですよ。で、10 時までにああどっちかが迎えに行かなくちゃいけないじゃないですか。取りあえず、まあぼくが今度どういう仕事するか分らないんで、彼女に当初はお願いしようと思っていたんですけど…夜の迎えは。ただ、全部毎回彼女をお願いするってわけにはいかないでしょうから。<8>

次に、復職後、送り迎えの分担のパターンが定着するまでの過程について、夫婦はそれぞれ以下のように述べている。

(パートナーは復職後) 最初やっぱり原職に復職したので、結構大変っていうか。まあ、朝はなるべく彼が送って行ってくれたんですけど、夜はもう全く無理なので。<7>

復職して、朝、僕が送るようにしたんですよ、なるべく。朝、僕が 7 時ぐらいだったかな？子どもを保育所に送って、僕は仕事行って、夜はもう彼女に全部お願いしたんですよ。夜は、僕はお迎え行かなくて、全くほとんど行かなかったですね。まあ、超遅かったんで、彼女に全部、全面的にお願いして、やってみましたね。だから、(異動する) 8 月までは、ほとんど彼女にお迎えはお願いしたって感じですね。<8>

こうした分担は、ほとんどの場合、最初に夫婦間で話し合いがあって計画がたてられるわけではない。むしろ試行錯誤的にやってみて、生活パターンができてくるにともなって定着していくことが多い。カップル①を例に見てみよう。

わたしが職場に復帰したときからかな、してからちょっとしてからかな…(夫は) ごみ出しとか、そういうのも言っといても忘れちゃったりとか…そういう感じだったので、そういう家のことをちょっと片付けしたりとか、ごみ捨てしたりとかするのは(私が)やるから、(子どもを保育所に)送ってほしいって言ったのかな。で、(夫が) 5 月から働き始めたので、最初のうちは…会社に慣れるまで行けないって、自分の中で